月刊
【環境・省エネ情報誌】
HIRAIWA
省エネNEWS
2022年　9月号
平岩建設株式会社

これから災害が増える季節です

災害対策・BCP対策
早めに始めませんか？

9月は災害が起きやすい時期と言われており、
地震や台風により、大きな災害をもたらすケースも数多くあります。
そのため、災害が起きる前に予め対策する企業が増えています。
今回は災害･BCP対策として弊社がご提供するソリューションをご紹介いたします。

平岩建設の災害対策ソリューション

災害時の電気の確保！持ち運び可能な小型から大型まで

大規模災害が起きた時、重要なのが**通信手段を確保すること**です。**従業員の安否確認や被害状況の把握**、**業務再開に向けた指示**等、通信手段があることが重要となります。
その通信手段を確保するために必要なものが**“電気”**です。**電気が止まるとトラブルになってしまう設備（生産設備、サーバルーム、）の電気を確保**する必要があります。

平岩建設株式会社
TEL:04-2923-2203　FAX:04-2923-2212
製造業の省エネ･コスト削減のことならお任せください！
平岩建設のHPは↓↓からチェック
「埼玉県　平岩建設」で検索！
http://www.hiraiwa.co.jp/
＜担当＞
荒井
＜メールアドレス＞
daiki-arai@hiraiwa.co.jp

平岩建設の災害・BCP対策ソリューション
～災害が起きる前の早めの対策～

対策① 自家消費型太陽光 ＋ 産業用蓄電池

自家消費型太陽光

蓄電池

特徴 自家消費型の太陽光は、電力料金削減方法としてこれまで普及してきましたが、BCP対策としての活用方法も注目されています。太陽光パネルを自家消費型として設置した場合、**通常時は自家消費をおこなうことで、電気料金の削減やCO2排出量の削減**になり、大規模災害等による**停電時には非常用電源**として活躍します。蓄電池においても、通常時はデマンドカット対策で使用し、災害時には電源確保として重要な役割を果たします。特に夜間は、太陽光による発電が見込めないため、蓄電池が活躍するのです。

補助金が活用できます

- 補助金名称：ストレージパリティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業
- 補助額：**太陽光発電設備定額（4 万円/kW）・産業用蓄電池定額（6.3万円/kWh）**
- 公募予想：2023年2月および3月以降　※2022年の公募は終了しています

対策② 小型・中型・大型 LPガス非常用保安用発電機

大型LPガス発電機

中型LPガス発電機

小型LPガス発電機

特徴 LPガスは重油や灯油といった油燃料と違い、腐食しないためメンテナンスが容易であり、いざという時にしっかりと稼働する長所があります。そのため非常用発電機として優位性があります。病院や福祉施設等で建設時から導入されている防災用発電機は防災設備に対してのみ停電後数時間の運転が可能ですが、**BCP対策として、約72時間の連続運転が可能な保安用発電機のニーズが高まっています**。さらに、**小型移動式のLPガス発電機は設置工事が不要**なため、少額で導入することができます。また移動式であるために設置場所を取らずに、緊急時に電気が必要な設備の近くまで移動させて利用することができます。

補助金が活用できます

- 補助金名称：災害時に備えた社会的重要インフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業
- 補助額：**1／2～2／3**　※条件による
- 補助対象事業者：地方公共団体が認知した一時避難所（工場･事務所･商業･温浴施設）、避難困難者が生じる施設（医療施設･福祉施設）など
- 公募予想：2023年2月および3月以降　※2022年の公募は終了しています

災害対策・BCP対策につながる“電気の確保”
平岩建設までお気軽にご相談ください！

お電話かFAXでお問い合わせください！

◆◇◆ お客様お問い合わせ記入欄 ◆◇◆

今回の記事内容に関しまして、ご質問･ご不明な点などございましたら
下記ご記入の上、FAXして頂くか、電話にてお問い合わせ下さい。

☐ 自家消費型太陽光＆蓄電池について相談したい
☐ 非常用保安用発電機について相談したい

お名前
貴社名
ご住所　〒
電話番号

平岩建設のHP↓
http://www.hiraiwa.co.jp/

お電話はコチラから→TEL:04-2923-2203 FAX:04-2923-2212
〒359-1188埼玉県所沢市南住吉8-19 担当:荒井 Email：daiki-arai@hiraiwa.co.jp